

(4) 管理の実態を把握するために必要な事項

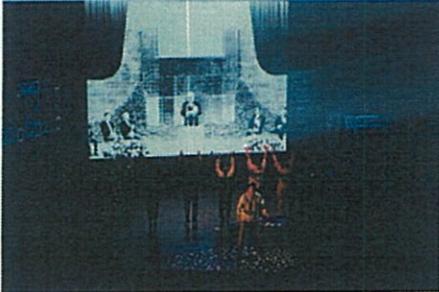
■ 自主事業

・ 文化芸術振興事業

①	文化庁文化芸術による子供育成推進事業 クラシック音楽アウトリーチ 「てだこのみみぐすい」	
	収入 0円 支出 7,234円 収支差 △7,234円 助成額 1,498,960円 参加児童 1007名	クラシック音楽のアウトリーチ。小学校4・5年生を対象に1クラスごとに各校の音楽室で実施。小空間、少人数、50分間というアーティストと濃密なコミュニケーションが可能な状態で児童に音楽を多角的に体感してもらうことに注力している。市内6校にて実施。ピアニスト： を軸に各種アンサンブルで訪問。
教職員アンケートより ・アーティストを間近に感じる経験はなかなかできない。CDで聴く、TVで見るのとは大きく違い、やはり生演奏に勝るものはない。経験や楽器の話を本人から直接聞けたり、楽器に触れることができる。このあたりが魅力となっている。 ・自分たちの音楽室にアーティストが来てくれて、身近なテーマで、わかりやすい言葉で演奏を聞かせてくれるのはありがたい機会です。教師として技術的に和音を出すことや口頭での説明はできるが、アーティストは音楽の大切な要素を実際に目の前でやってみせてくれるので説得力がある。		

復帰50年記念演劇 from URASOE 第1弾 「島口説」	9月16日(金) 小ホール 207名	一般1,000円 高校生以下500円(当日一般のみ300円増)
	収入 2,117,203円 (助成額 1,932,003円) 支出 2,043,417円 収支差 73,786円	復帰50年記念演劇第1弾として上演。昭和54年北島角子の一人芝居として初演され、昭和56年文化庁芸術祭賞演劇部門優秀賞受賞。県内4館の合同企画(てだこ、西原、与那原、南風原)として、文化庁のアートキャラバン事業への参加。劇作家・謝名元慶福氏が書き上げた作品。歌と踊りと語りによせて山城スミ子の半生とそこに浮かびあがる沖縄の戦後史を舞台化。
	【観客アンケートより】 ・戦後の沖縄の背景をよく調べていて、涙も笑いもあり、本当に感心しました。沖縄に住んでいながら、沖縄について知らない自分を少し恥ずかしく思いました。ありがとうございました。() ・大変すばらしかった。舞台上の2人の演技が本当に素晴らしく感動しました。笑いの中にも沖縄の抱えてきた悲しみが表現されていて奥の深い演劇でした。(60代・女性) ・笑って、泣いて、胸が熱くなりました。スミ子と沖縄の歴史を振り返りながら、これからも頑張ろうと思いました。 ・もっと沢山の人が知ってほしい。沖縄県以外の人にも。子供たちにも。知らな過ぎた。沖縄の事を。素人してなくて自分が恥ずかしく思う。 ・うちなーユーモアと戦後沖縄の組み合わせでとても笑いながらまた、いろいろと考えさせられて面白かったです。	
		

②

復帰50年記念演劇 from URASOE 第2弾 「72' ライダー」	10月20日(木) 小ホール 234名 10月21日(金) 小ホール 195名	一般3,000円 学生1,500円(当日も同額)
	収入 3,089,992円 (委託料 1,373,492円) 支出 3,089,992円 収支差 0円	復帰50年記念演劇第2弾として上演。浦添市文化芸術振興事業実行委員会との共同主催。復帰の1年後に国会議事堂の正門で激突死した上原安隆さんを主人公に劇団O.Z.Eが復帰40年に制作した作品。今回は脚本・選出をブラッシュアップして、復帰50年を記念するリメイク版を上演した。
③		【観客アンケートより】 ・先輩の50代の皆様の現実。そして50年前の復帰前後の事。「知る」機会を得られました。とても良かったです。30代ですがこれからの時代と次代を作っていく私にはとても感動しました。 ・とてももやもやしています。「無関心」だったからだと思います。また色々と自分自身でも勉強(知る努力)したいと思います。 ・復帰をテーマにした演劇って難しそうだけど、沖縄の人が今抱えている現状をうまく表現できていたと思ったから。複雑でした。 ・笑いもあり、感動もあり、考えさせられるものもあるとても良い作品でした。演者さんたちの演技もとても素晴らしく、自然で感情もとてもよく伝わる。とても好きです。胸がとても苦しくなりますが、心に刻み込むべき出来事であり、知る機会を得られたことがとてもありがたく幸運です。
		

<p>反田恭平&ジャパン・ナショナル・オーケストラ コンサートツアー2023 沖縄公演</p>	<p>2月25日(土) 特別クリニック 市民交流室、多目的室1、 練習室1・2</p>	
	<p>2月26日(金) 昼公演 13時 大ホール 夜公演 18時</p>	<p>一般 7,500円 U-30 2,000円 昼公演 951名 夜公演 949名 ①ショスタコーヴィチ「ピアノ協奏曲 第1番」 ②マーラー 「交響曲第1番『巨人』」</p>
<p>④</p>		<p>【観客アンケートより】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上質な音楽まさにその通り 2時間ずっとワクワク感動しました。改めて音楽の魅力、パワーを感じた公演に感謝致します。 ・反田さんのピアノに指揮、そして若い方たちのオーケストラ演奏、とても聴きごたえあるものでした。全身全霊の演奏に心が洗われました。作曲家の母国への思いをたどることができ、アンコールでは、今の世界情勢を思いながら、涙と共に平和を祈りました。 ・200%大満足のコンサートでした。元々長年の反田恭平さんファンですが、オーケストラのみなさんの表情やメンバー同士のアイコンタクト、演奏中のものすごく楽しそうな様子は、見ていて本当に素晴らしいなと思いました。 ・反田恭平さん(ピアノ)をメインに CM とかしてた割に、ピアノ演奏が少なくて、ピアノ演奏を聴けると期待してたので、少し残念でした。
	<p>収入 2,645,120円 支出 2,104,882円 収支差 540,238円</p>	

○延期になった文化芸術振興事業 (1事業1公演)

①	まちを踊れ！ 浦添ダンススケッチ vol.1 屋富祖 GOGOGO！	7月24日 WS 7月31日公演	7月上旬からコロナ感染者数が急激に増加し、地元屋富祖の出演者からも稽古時の感染不安があるとのことで令和6年度へ延期することとした。
---	------------------------------------	---------------------	---

・その他の事業

- ・舞台運営支援事業 (施設利用者が排出したごみ进行处理する。90Lポリ袋を提供し、1袋あたり300円を徴収する。)
ごみ処理実績 54,600円 (1袋300円×84袋)
- ・販路拡大支援事業 (てだこホールで開催される催事について主催者の依頼により前売券を受託販売する。)
登録料1公演1,000円 売上金額の10%の手数料 15件の受託 総売り上げ353,700円 手数料収入 67,130円
- ・感染防止支援事業 (マスクを忘れてきた方に1枚50円で販売する。)
販売実績 20枚 売上金額 1,000円
- ・職員派遣
①3月11日 浦添市文化協会 第28回文化講演会 館長を講師として派遣。
演題「われわれと地域を結ぶ文化の役割」
- ・クリーンキャンペーンを実施。
毎月第4水曜日、朝のミーティング終了後、職員にてホール周辺(駐車場、歩道等)のゴミ拾い活動を行なう。
- ・令和4年度 てだこわんフレーズ大賞
職員から1年のスローガンを募集し、運営委員にて選出。管理事務所に掲示した。
「目配り 気配り 笑顔でね」 施設管理課・IT担当: